

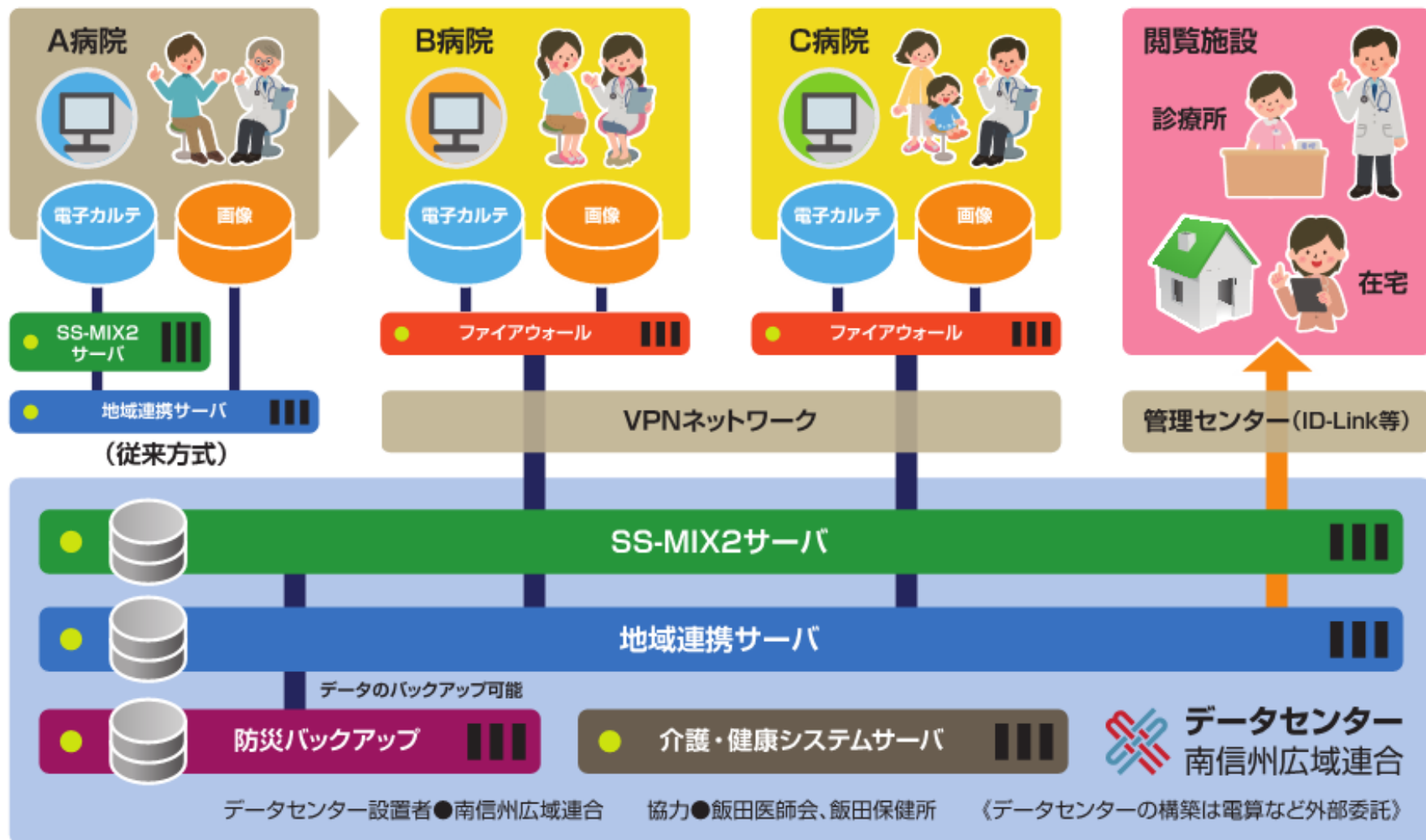
事例② 長野県飯田市(南信州広域連合)

関係者間の連携による医療・介護提供体制の構築

～「病病・病診連携」「地域包括ケアシステム」を見据えた
診療情報の共有～

統合型医療・介護情報共有システムの構成図

従来、個人情報保護の観点から各病院に地域連携サーバを設置していましたが、国の方向性もふまえ、データセンターに設置したSS-MIX2サーバと地域連携サーバに各病院の診療情報を統合します。



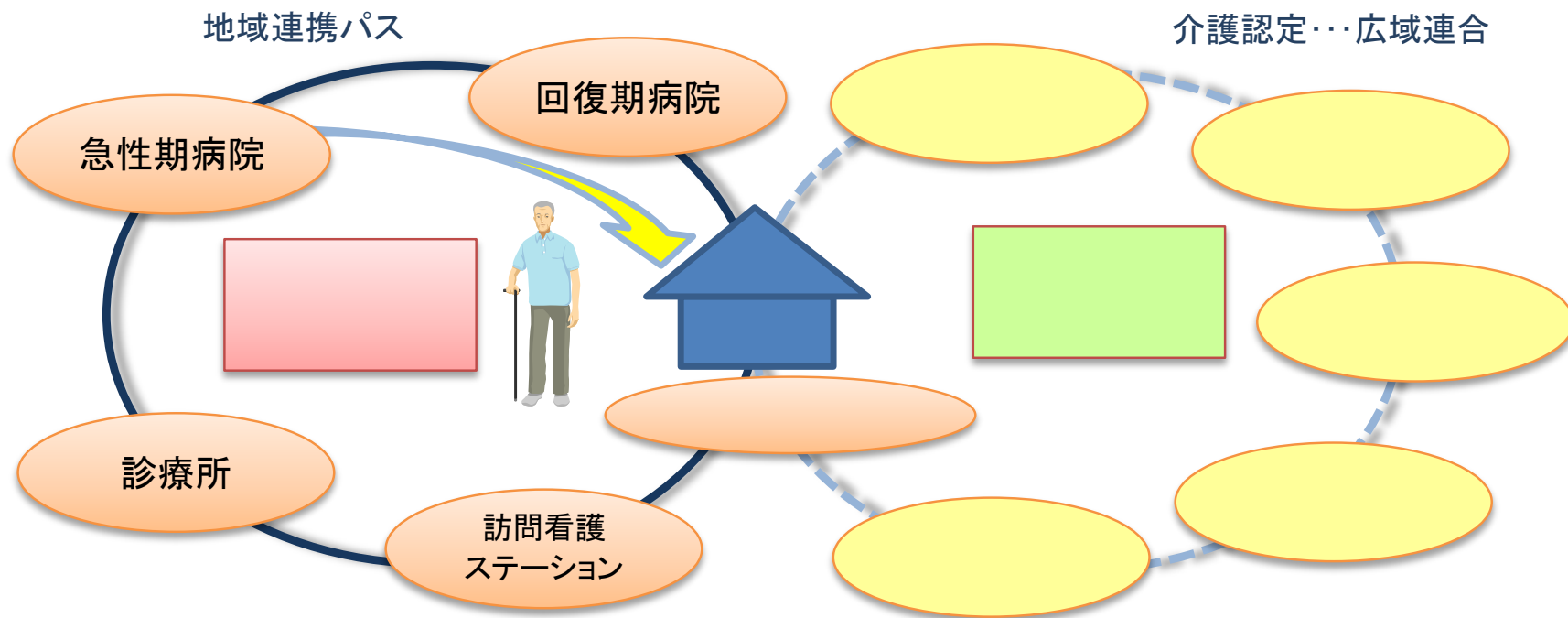
ID-Link + ipadで在宅医療を支える 自宅での看取りも可能に

全ての訪問看護ステーションへipadを導入予定



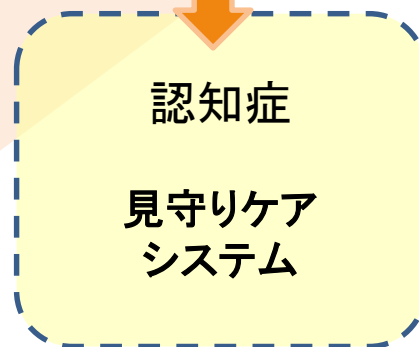
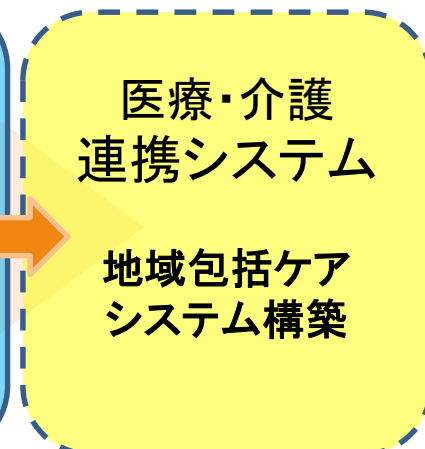
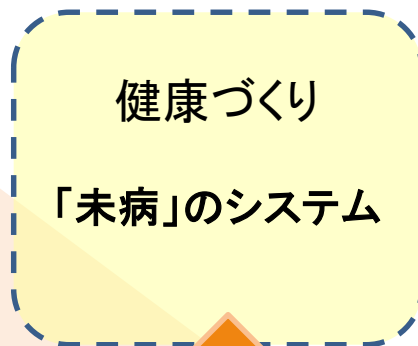
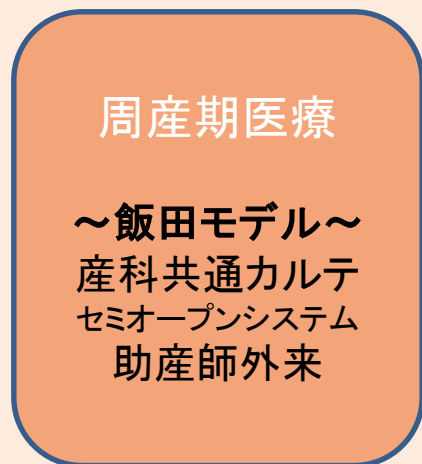
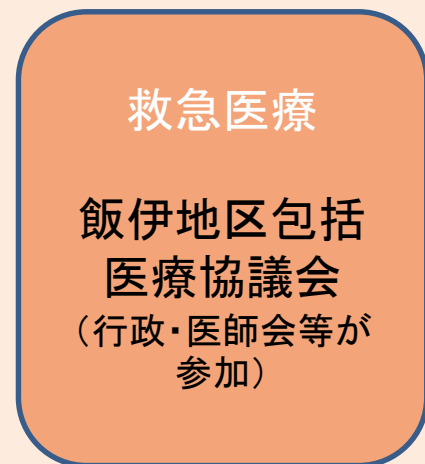
テストの結果、在宅医療の
情報共有化に非常に有効

「病病・病診連携」「地域包括ケアシステム」 を支える社会インフラの将来像



飯田下伊那全域で、医療・介護関係者の情報共有基盤を構築したい。

飯田下伊那の 将来ビジョン

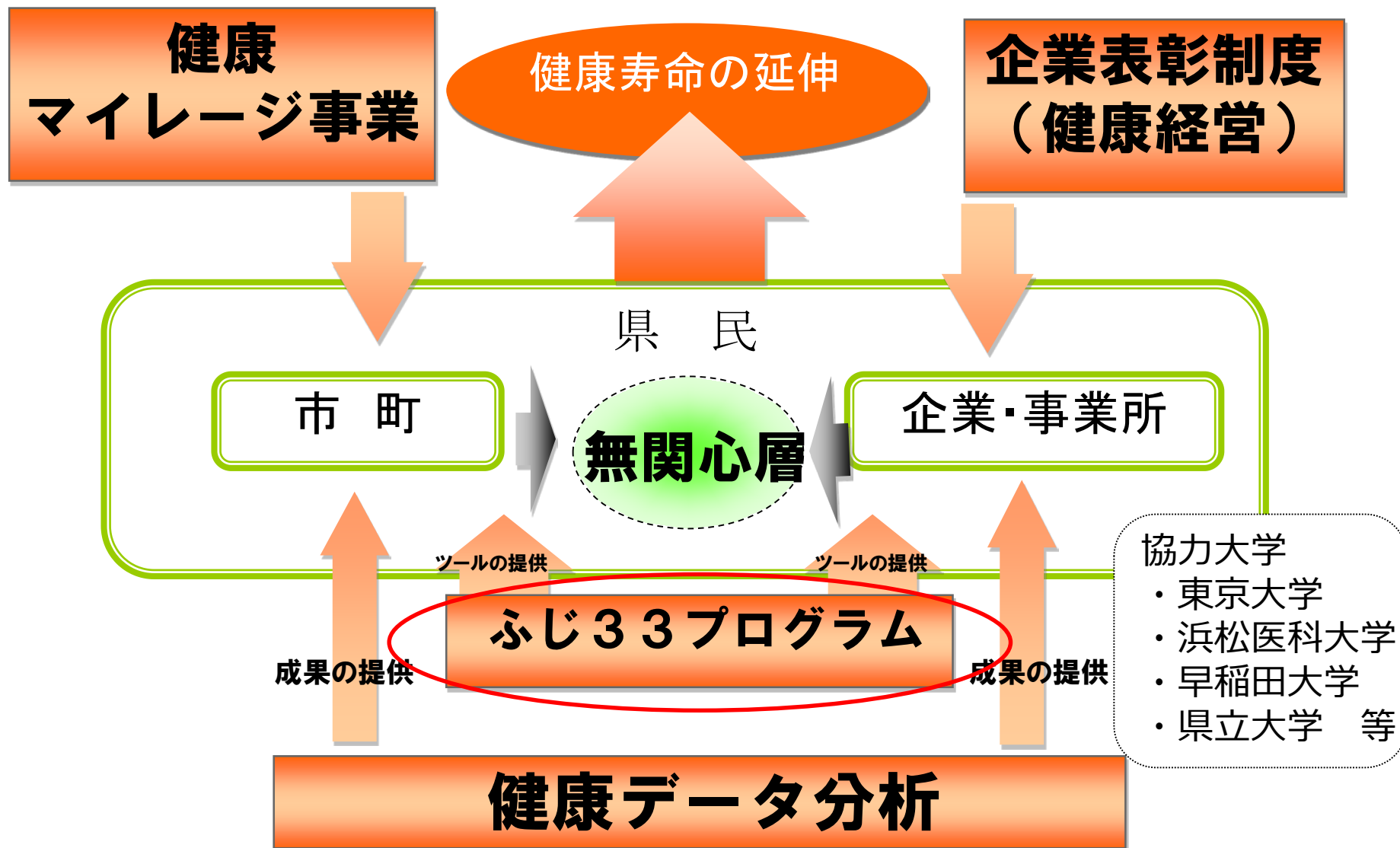


事例③ 静岡県

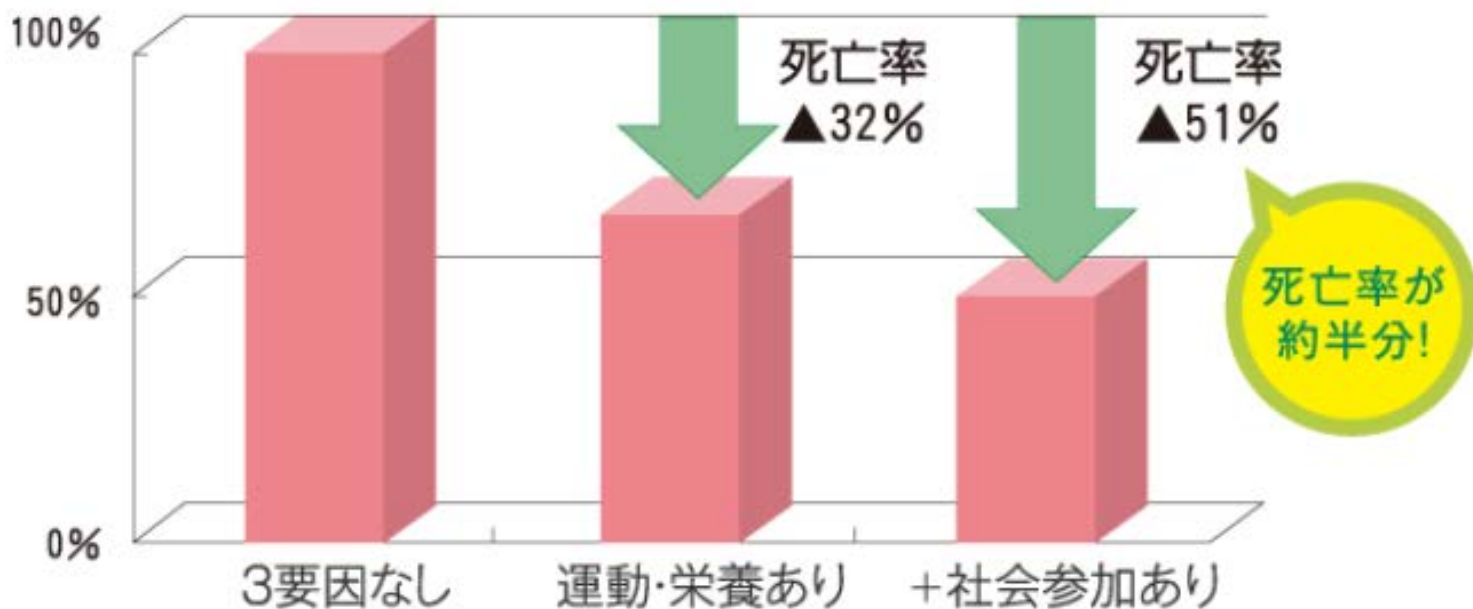
健康長寿プロジェクト

～ ふじ33プログラムを中心に～

健康長寿プロジェクトをH24から開始



運動・栄養・社会参加の有無と死亡率



※性別、年齢、体格指数、喫煙状況で調整したハザード比
静岡県高齢者コホート調査研究



社会参加とは？

事例④ 熊本県熊本市

関係者間の連携による健康づくり

～ CKD(慢性腎臓病)予防に向けた取組～

CKD対策の背景

・本市の人工透析導入者数は人口比で**全国平均の1.47倍**と最も高い水準にあり、新規透析導入者は**年間295人**に上っていた。

・CKDが死因の上位を占める**心血管疾患の重大な危険因子**であることが判明

・**予防、治療が可能**になった

・自覚症状がなく、**潜在患者が数多く**いることが予測された
(約7万5千人のCKD患者)

